審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	平成 29 年度第 2 回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会			
2. 開催日時	平成 30 年 2 月 13 日 (火) 午後 1 時 30 分~午後 3 時			
3. 開催場所	松阪市健康センターはるる 3階健康増進室			
4. 出席者氏名	委員 16 名内 14 名			
5. 公開及び非公開	公開			
6. 傍 聴 者 数	3 名			
7. 担 当	松阪市健康福祉部健康づくり課 TFL 0598-20-8087 FAX 0598-26-0201 e-mail ken. div@city. matsusaka. mie. jp			

協議事項

- 1. 平成30年度以降のフッ化物洗口推進事業について
- 2. 平成30年度のライフステージ別の取り組みについて

議事録・委員名簿

別紙

平成29年度第2回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会進行表

事 項	発 言	内 容		
開会 13:30	事務局	お待たせいたしました。 定刻になりましたので、ただ今から、「平成29年度 第2回 松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会」を開催させてい ただきます。 本日、皆様には、大変お忙しいところご出席いただきま して、誠にありがとうございます。 私は、健康づくり課長の白藤でございます。議事に入る までの間、進行を務めさせていただきますので、どうぞよ ろしくお願いいたします。		
		まず始めに、皆さまにお知らせいたします。 本日の会議は、 松阪市審議会等の会議の公開に関する要領の規定により、会議を公開とするものとし、 会議録作成のため、会議の状況を録音させていただきますので、あらかじめご了承下さい。 また、本日は傍聴に 2名様がお越しいただいております。 本日の資料につきましては、事項書、委員名簿、フッ化物洗口推進事業の資料1,2,3、平成30年度以降のフッ化物洗口推進事業についての資料4,5、平成30年度ライフステージ別の取り組みについての資料6となります。ございますでしようか。		
	協議会会長	本日は、松阪市PTA連合会の小澤様、松阪市立幼稚園 長会の寺田様が欠席のご連絡をいただいており、松阪市保 育園長会の井村様が遅刻となっておりますが、委員 16 名の うち出席者 13 名で、規則第 6 条により成立していることを ご報告させていただきます。 それでは、開催にあたり、長井会長よりご挨拶をいただ きたいと思います。 長井会長宜しくお願いします。 みなさん、改めましてこんにちは。寒い日が続いており ますが、風邪などめされないように。外は寒いですが、中 は温かい会議にしたいと思いますのでよろしくお願いしま す。		

事務局

どうもありがとうございました。

これより、事項書2の事項に入ってまいりますが、議事・ 進行につきましては、規則第6条により会長の長井様にお 願いし、進めてまいりたいと存じます。

13:35

協議会会長

それでは、規則に基づきまして、私が議長を務めさせて いただきます。

それでは事項書2 平成29年度歯と口腔の健康づくりの 取り組み経過報告の(1)フッ化物洗口推進事業について 事務局より報告をお願いします。

保育園・幼稚園の経過報告をこども未来課さんの方から お願いしたいと思います。

事務局

資料1をご覧ください。H29 年度は新規7園ということで、資料1の1枚目に書かかれている園で始めさせていただきました。山室山、西、大河内、三雲北保育園、鎌田、松江、三雲北幼稚園となっています。それぞれ賛同いただきました方からフッ化物のお薬を含めて始めています。この中で4歳児につきましては、うがいするのがちょっと苦手ということがあったりとか、洗口液を嫌がる園児もみえまして、何度か先生方にご協力いただいて、薄めたものから徐々に始めていただいたりとかしてもらってます。また三雲北保育園の方では、週1回フッ化物洗口についての職員会議等を行っているとうかがいました。フッ化物洗口が始まって、朝の自宅での歯みがき習慣に結び付いたという始まって、朝の自宅での歯みがき習慣に結び付いたというが、保育の観点から降園前にするようにしたりだとか、各園実情に応じてやっていただいています。

つづきまして、継続園が17園あります。保育園が16園、 幼稚園が8園で全部で24園になっています。以上で、保育 園、幼稚園のご説明とさせていただきます。

協議会会長

ありがとうございました。昨年度までに済ませているところは順調にいっているとおもいますが、今年度は始まったところについて何か意見とかそういうのは聞こえてきていませんか。

事務局

先程もお伝えさせていただいたんですが、やはりお薬が 苦手な子どもさんについて、ちょっと困っているというこ とを聞かせていただいています。でもその中で園医の先生 と協力しながら、薄めの液から始めたりとか色々努力して いただいております。

協議会会長

飲んじゃったとか、そういう報告もありませんか。

事務局

ありません。

協議会会長

ありがとうございました。

それでは、小学校の方を学校教育課の方からよろしくお 願いします。

事務局

資料2、H30年度実施小学校 H29年度の経過報告が横書 きになっていますがご覧ください。来年度、H30年度よりフ ッ化物洗口を実施します 6 小学校を中心としました取組み の経過報告をさせていただきます。まず7月に H30 年度よ り実施します6小学校から、管理職1名、養護教諭、養護 助教諭に出席いただいてフッ化物洗口事業説明会を行いま した。つづいて10月に、来年度から実施の節目にあたりま すので、小学校、中学校の全養護教諭、養護助教諭、実施6 校の管理職の先生方に来ていただきまして、フッ化物洗口 の研修会を行いました。12 月には学校教育課主催で先進地 視察を行いました。実施6校から管理職、養護教諭、養護 助教諭に参加いただいて、岐阜県山県市の桜尾小学校に行 かせていただきました。保健室で、原液から洗口液づくり をするところ、それから教室で子ども達に配布してブクブ クうがいをCDに合わせてするところ等、校長先生や教頭先 生、養護の先生からもパワーポイントを使って説明もいた だきました。それぞれの学校で、松阪市に戻ってどういう 風に出来るかというイメージを膨らませることができたの ではないかなと思います。この 10 月の研修会や 12 月の先 進地視察では、講師の先生の手配だとか見学地の選定につ いて、松阪の歯科医師会の先生方に大変お世話になりまし た。ありがとうございました。つづいて、今年になって1 月に三重県の歯科医師会の主催での先進地視察、場所は同 じ山県市なんですが、行ってきたのは高富中学校の方に行 かせていただきました。こちらも学校現場から、小学校から4人、中学校から2人の方に参加いただいて行かせていただきました。それから保護者の方々への周知として、1月の後半から2月にかけてどの小学校でも1日入学があるわけなんですが、そこで新1年生の保護者に対して各6校でフッ化物洗口の実施について学校長より説明をしてもらいました。それから、4月には年度が替わって来年度になるわけですが、PTA総会でも全保護者にフッ化物洗口について周知を行うという風に予定しております。以上です。

協議会会長

ありがとうございました。岐阜県山県市の方に行かれた わけですが、現地視察していただいて、担当の養護の先生 方とか意見とかはどうでしたでしょうか。

事務局

やはり初めてのことをしますので、薬を扱うということで、ずいぶん心配もされている先生もみえたんですが、山 県市では非常に簡単に子ども達がブクブクうがいをしておりまして、最初のうちは不慣れな部分があるかもしれませんが、やりだしたらできるんじゃないかという風な感想を持たれた先生が何人かみえたという声を聞かせていただきました。

協議会会長

ありがとうございました。薬に関しては心配な点も色々あると思います。薬剤師会の方とも、歯科医師会の方とも また協議させてもらって、不安も解消させるように努力しますのでよろしくお願いしたいと思います。

つづきまして、**③**の専門部会の報告を健康づくり課の方からよろしくお願いしたいと思います。

事務局

歯と口腔の健康づくり推進協議会専門部会の報告をさせていただきます。お手元の資料③をご覧ください。こちらの専門部会は昨年に引き続き小学校へのフッ化物洗口事業の導入を行うにあたって具体的なことを協議していく場として開催させていただきました。委員は7名で当協議会の委員からの選抜となっています。事務局として担当部局の学校教育課と健康づくり課から出席しております。今年度は、11月30日、1月11日の計2回開催させていただきました。

協議内容は学校教育課からの平成31年度実施する6校の

提案と意見交換、平成30年度から実施していくにあたってのタイムスケジュールについて協議を行いました。詳細については後程、事項書3の協議事項において学校教育課より提案をさせていただきますので宜しくお願いします。また平成30年度の具体的なタイムスケジュールについて歯科医師会、学校教育課、健康づくり課で調整を行い新年度初めに実施6校へ通知をしていくことになりました。次年度からも新しく実施していく学校の選定や今後の進め方等について協議していく場としてこちらの専門部会を開催していきたいと考えています。以上専門部会の報告とさせていただきます。

13:45 協議会会長

ありがとうございました。専門部会に出席していただいている方々本当に大変だと思いますが、専門部会で本当に小さな細かいところまで協議してもらっておりますので、この協議会でスムーズに進行させていただけているものと思いますので、今後も専門部会よろしくお願いしたいと思います。

それでは、H29 年度のフッ化物洗口推進事業に関しまして 何かご意見、ご質問はございませんか。

また、協議事項の方で出てくると思いますので、その時 に色々とお話をさせていただきたいと思います。

それでは、(2)の関係団体の取り組みについてフッ化物 洗口以外で平成29年度に取り組まれた各団体の報告をいた だきたいと思います。

委員

三重県栄養士会の方では、今年度は好ましいおやつの提案とかカルシウムアップ、バランスのよい食事の提案等を、 メニューまたはレシピ等で提案させていただきました。

協議会会長

ありがとうございました。先生いつも積極的なご意見を ありがとうございます。

委員

歯科医師会としましては、歯と口腔の健康まつりの実施や、障がい者に対する健診を年 2 回毎年行っております。こちらの健診は、そだちの丘へ行かせていただいております。それについてのネットワークづくりの勉強会であったりとか、障がい者に対する専門知識を学ぶということで、色々勉強会も開いているところです。口腔ケアステーショ

ンではどうでしょうか。歯科衛生士会の方から聞かせていただければ…。

協議会会長

今年度のケアステーションで在宅のことで何かあれば。

委員

ケアステーションの方では、施設や在宅の方へ先生と一緒にうかがわせていただいて、口腔ケアの取組みをさせていただいております。

協議会会長

割りとこの協議会ではフッ化物が議論の対象で一生懸命やってくれているんですが、在宅の患者さんに対しても我々は口腔ケアステーションを作って誤嚥性肺炎を予防するように頑張っておりますので、またみなさん方もお近くで困っている方がみえましたら、ぜひ我々の方に言っていただければ、そういう社会奉仕をやりたいと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

13:50 | 協議会会長

3の協議事項(1)平成30年度以降のフッ化物洗口推進 事業について入りたいと思います。

① ~③について事務局より説明を願います。

事務局

①H30年度は白鳩、東、駅部田保育園となっております。次の小学校の取組みで始まる学校につながるように、こちらの保育園を選ばせていただきました。なお、H32年度のところにわかすぎ第3保育園というのがございます。こちらは、今年度三雲に開園した保育園でして、歯と口腔の推進協議会のこともお話させていただきましたら、ご賛同いただきましたので、H32年度以降で実施していただくというような返事をいただきましたので、ここでご報告させていただきたいと思います。あと幼稚園については、H30年度は阿坂、中川、港というようになっておりますのでよろしくお願いいたします。

協議会会長

保育園、幼稚園がそのまま小学校に移っていけると、学校の方も無理なく進んでいけるかと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

事務局

②資料5をご覧ください。松江小学校から小野江までの 6 校を書かせていただきました。H30年度に実施する各学校の スケジュールということで、それぞれの学校に出していた だきました。詳しい日については、また年度を改めまして 年間計画で決定することになると思います。この一覧表に はありませんが、職員対象の説明会とか、保護者対象の説 明会、児童対象の説明会や歯みがき指導、ブクブクうがい の練習は、それぞれ各学校で実施までにやっていただく予 定となっております。少し戻りまして、先程の保育園、幼 稚園の説明にありました資料4の方ですが、経過報告の中 で健康づくり課白藤参事より説明していただきましたが、 再来年度の H31 年度の 6 校を選定するために専門部会を開 催し協議しました。その6校を発表させていただきます。 第一、第四、阿坂、港、揥水、大河内小学校、以上の 6 校 です。6校の選定理由としては、昨年度の専門部会の協議の 時にも大切にしてきました。できるだけスムーズに進める ためにということで、保育園、幼稚園の時からしている新1 年生の 50%以上の児童が幼稚園時、保育園時に経験してい るということを目安に、今回も協議させていただきました。 以上です。

協議会会長

ありがとうございました。やはり子どもが経験しているということが、すごくスムーズに進む 1 歩だと思いますので、そういう選定をしていただいてありがとうございます。それでは③私立幼稚園への取組みをお願いします。

事務局

③前回の協議会においても私立幼稚園にもフッ化物洗口事業についてアプローチが必要であるとのご意見をいただいておりましたが、1月に梅村幼稚園へフッ化物洗口事業の説明に行かせていただきました。梅村幼稚園の方でも取り組んでいきたいとの意向でしたので次年度の申請に追加で上げさせて頂く予定でいます。

協議会会長

一緒に仲良く進めていただきたいと思います。

ただいま事務局より説明のありました平成30年度以降のフッ化物洗口推進事業について、ご意見、ご質問はございませんか。

いつも同じような質問で、みなさんよく分かってみえると思いますので、よろしいでしょうか。

委員

先般の有滝課長さんの説明とか、これからのフッ化物実施モデル校の郡部だったのか、町場の学校、それから中規模、大規模の学校を選定していただきまして、教育委員会あるいは現場の先生方としては随分大まかな歩みを実施していただいているんだという風に了解しております。ますますこういった形で拡大するについて、岡田先生にもおうかがいした方がいいのか、有滝課長におうかがいした方がいいのかわかりませんが、松阪も広域です、あるいはまた松阪地区というと明和とか多気とも隣接しております関係で、先生方の転勤というのはどういった範囲までございますものなんでしょうか。もし予備知識として教えていただけたらと思いまして。

事務局

学校教育課は教職員の人事もやっておりますので、今ちょうどその時期になっているんですが。小中の教職員は県職員ですので、建前というか基本は全県での異動となります。今年度も新しく松阪市に他市から入ってくる方もみえますし、逆にここで育って、地元にというか松阪以外のところに戻られる先生もみえるので、概ねは基本として松阪市内で動いてもらう先生が小中の場合は大多数です。そういう風な異動の現状になっております。

委員

市内でいろいろ各校交流ということもできるということ がイメージできると思いますので、非常に手厚くいいなと 思いました。

事務局

先程、津田先生が言われた全域にということで、我々も 気を付けているのが、こういう研修会をフッ化物洗口につ いて担当の養護だとか管理職だけじゃなくて、全ての先生 がこの意味について知ってもらうことで、ゆくゆくその先 生が異動すれば、それだけでも啓発になるということもあ りますので、裾野をどんどん広げていくという方向でこれ からも考えていきたいと思います。

協議会会長

ありがとうございます。すごく建設的な意見を聞かせていただきました。本当に、行政の方も一緒に、学校関係の方も一緒に進めていくと、加速度的に進むんですね。どっかで止まっていると、ブレーキがかかってしまうんですが、

一緒に三位一体で進めると、これくらい進んでいくのが早いんだなというのが実感してくると思いますので、これからもよろしくお願いしたいと思います。

以上、協議事項(1)についてご審議いただきました。 委員の皆様ご承認いただけますでしょうか。 ありがとうございます。

次に、協議事項(2)平成30年度のライフステージ別の取り組みについて事務局より①~⑤について説明を願います。

事務局

① 乳幼児期の取り組みについて健康づくり課・こども未来 課より説明。

(健康づくり課より説明)

平成30年度の乳幼児期の取り組みについて健康づくり課よりご説明させていただきます。お手元の資料⑥をご覧ください。幼児健診、健康教育、相談等において保護者への仕上げ磨きや家庭用フッ素利用、おやつの指導を実施していきます。今年度4月より健康センターはるるでの事業が実施され、これまでよりも各事業において利用者が増加している状況です。はみがきの相談事業においても利用のニーズが高くなっているため平成30年度からは、「健康センターはるる」の会場の定員枠を増やしていく予定です。また、フッ化物洗口推進事業についても今年度に引き続きこども未来課と連携して事業を実施していきます。私立幼稚園についても本事業の運営はスムーズに進められるよう、健康づくり課が直接窓口となって取り組んでいきたいと思います。

事務局

こども未来課につきましては、保育園、幼稚園において 年齢に合わせたの歯科指導の実施としまして、ブクブクう がいから始め、歯みがき指導をし、フッ化物洗口の導入に つなげていきたいと考えております。

事務局

②まずフッ化物洗口についてですが、研修及び啓発活動は 来年度も継続的に行っていきます。学校教育課主催の先進 地視察は来年度も実施し、現場を生で見て先生方がイメー ジしやすいようにサポートしていきたいと考えておりま す。次に歯みがき指導についてです。毎年 3 月に各校における歯みがき指導の実態調査をしております。水道施設の不足等で昼食後の歯みがき指導が難しい学校があります。 各校の実態を把握し、歯みがき指導の充実に向けて指導、助言をしていきたいと考えております。

協議会会長

歯を守っていく話を僕たちもさせていただくんですが、 お年寄りの方に、あなたが若い頃に戻ったら何を注意した かったかという質問をしますと、8割の方がもっと歯を大切 にすればよかった、もっと歯みがきをしっかりすればよか ったという答えが返ってくるんですね。我々の歯というの は、1回削っちゃうと元には戻らないんですね。削って、そ こへ入れて、その時は治るんですが、必ずその入れたとこ ろからむし歯とか絶対起こってくるんですね。こればかり は 1 回削ってしまうと終わりなんです。ではそれをどこで 止めるかというと、やはり妊産婦の頃から、また乳歯が生 えだす、永久歯が生えだす頃にやってあげるのが一番大事 なんですね。そこを考えていただくと、自分が歳をとった 時に、小さい時にこういうことをしてたらこんなに歯医者 で悩まなくて済むんだということがわかると思うんです。 健康でいった人ほど割りと感じないんですね。何もかかっ てないから痛い思いもしてないし。でもやはりそういう痛 い思いをした人は、70 過ぎてから自分はもうちょっと~と いう考えの方が多いので、ぜひそこら辺を。歯医者がこん なことを言うとおかしな話なんですが、自分らで自分らの 首をしめているようなことを言っているですが、でも本当 に歯を大切にしてもらおうと思うと、1回も削らないとい うところに着目を置いていただけるといいかなという風に 思います。

14:30 事務局

③成人期・妊娠期の取り組みについて健康づくり課より説明。

妊娠期の歯科保健の充実を図るため平成30年度から松阪 地区歯科医師会の医療機関委託方式での妊婦歯科健康診査 を実施します。妊婦歯科健康診査の具体的な実施方法について歯科医師会様とも協議させていただき、妊娠期より歯 科疾患の予防に努めていけるよう口腔内診査に合わせてブラッシングやデンタルフロスの実技指導を取り入れた内容 の健診となっています。現在4月からの開始に向け事務作 業の準備を進めています。また、これまでの歯周病検診の 実施方法についても国の指針に対象者を見直し実施しま す。

また第2次松阪市健康づくり計画の啓発とともに、健康教育・出前講座を実施します。健康センター「はるる」において成人対象の健康講座「はるる健康セミナー」の中で歯と口腔の健康づくりについても、講話を実施します。また高齢者支援課と協力して60歳以上の方を対象に食事・口腔機能向上・運動をテーマに2回シリーズの教室を開催します。

協議会会長

今年度から妊婦さんの歯科健診をさせていただくことになりました。一般の健康づくり協議会の医師会の方からも話があるんですが、やはり検診率が上がらないということがよく言われるんですが、歯周病検診もそうなんですね。割りと、検診に行ってくださいという通知が来てもなかなか行かないというのが現実なので、本当に検診して予防すれば後の治療費もかからないし、健康になるんだよということを行政の方の方もよくお伝え願えるといいかなと。よろしくお願いします。

事務局

⑤高齢者支援課の方では、65 歳以上の方に対して介護予防の関心を高めるとともに、全ての高齢者の方を対象とした介護予防教室を継続して開催していき、今後も普及・啓発の方につとめていきたいと思っております。介護予防いきいきサポーターの養成としまして、初級の方で連続した講座の方を口腔の内容でも実施しており、継続支援の方をしていきたいと思っております。地域で活動する宅老所、サロン、集いの場も年々増えてきておりまして、こちらの方にも専門的な指導、口腔機能の維持・向上と誤嚥性肺炎の予防について継続して支援していきたいと思っております。出前講座の方でも口腔内容についての出前講座も実施していきたいと思っております。

協議会会長

出前講座で誤嚥性肺炎とかを予防する口腔機能だけのというのは、今どれくらい計画されてますでしょうか。

事務局

希望のあったところの宅老所とかサロンとかに向けて実施させていただいておりまして、こちらとしては何件という形ではないんですが、サロンとかに関わることがある時には、啓発してこんなのもありますということで紹介しております。

協議会会長

地域のそういうところから希望をこちらに言っていただければ、それに合わせてやっていただけるということでしょうか。そういうサロンに対しての働きかけというのは、また行政の方からやっていただけてるんでしょうか。

事務局

いきいきサポーターの養成講座の方で、集いの場とかサロンのところでリーダーさんとして活躍していただいているところに向けては、出前講座の紹介をさせていただいたりということで関わらせていただいております。

協議会会長

今、他職種連携でいろんな方々と我々もお話させていただいて、お互いにお互いの必要性をよく感じ合っておりますので、いろんな方からまずは意見を求められたらぜひたくさん返させていただくようによろしくお願いしたいと思います。

事務局

⑥障がい福祉課の方では、身体障がい者手帳等を取得される方に対して、窓口で「障がい福祉のしおり」という冊子がありまして、それを提示しながら紹介をさせていただいてます。先程ご説明があったと思うんですが、こども総合発達支援センターそだちの丘で年2回、歯科健診と歯みがき指導をしていただいています。

協議会会長

施設の方には、専門の女性の先生に言ってもらっている んですね。

事務局

家庭介護教室というのを年 3 回実施しておりまして、その中で口腔ケアの重要性の内容の講座もしておりますので、そちらの方で介護予防状態における口腔ケアの重要性を普及していくということでさせていただいております。地域包括ケア推進会議他職種勉強会の方も実施しておりまして、その中でも歯科の先生方にもご協力いただいて、歯

科医療職と介護職の連携を図り、今後も口腔ケアの充実を 目指していければと考えております。

協議会会長

⑥の関係団体の取組みについては最後に意見をもらうとして、今日は三重県の方から奥野さんが来ているので、県のライフステージ別の取組みとかに関して、松阪と対比していただいてどんな感じか少しご意見を出していただきたいと思います。

アドバイザー

三重県庁健康づくり課の奥野と申します。皆様には歯科 口腔ケアの事業、健康づくりの事業にご協力いただきまし て、いつも大変お世話になりありがとうございます。

今、松阪市さんの取組みをたくさん聞かせていただきま して、県の方では今年度計画の改訂がありましたので、次 期計画の策定に向けてずっとこういったところの取組みを 次年度以降どうしていくかという話を続けてきておりま す。そろそろ計画が固まり始めまして、最終案の方を作成 したところなんですが、松阪市さんの取組みと対峙しまし てかなり具体的に各ライフステージ、そして障がいの分野 にまで取組みの計画を立てておられるところが本当にすご いなと改めて実感しております。県の方では、同じという ことではないんですが、やはり長井会長に言っていただい たように乳幼児期、学齢期とつなげていくためには妊娠期 からというようなところで、そういったところの取組みを 強化していく、そして高齢者のところではライフステージ の高齢者というところもありますし、あとは高齢期と障が い児にかかるようなところで在宅患者に対する歯科口腔保 健の推進というようなところで、そういったところの取組 みも含ませていただいております。また、医科歯科連携の ところにつきましても強化していくというところで具体的 な取組み内容の方を計画のところに書かせていただいたと ころです。H30年度から松阪市さんではフッ化物洗口を・・ ずつ進めていかれるということで、実際に・・ていただい ているところであります。県としましても、フッ化物洗口 にかかる指標というものがございまして、今の計画の方に もそちらがあります。そして次期計画の方でも、フッ化物 洗口にかかる評価指標の方を設けていく予定なんですが、 そちらの方でも小学校でのフッ化物洗口が進んでいくよう にというようなことで計画の方を立てさせていただいてい

るんですが、熊野市さんの方では H27 年度から実際に・・ ずつ始まって、今年度6校実施していただいております。 そういった県内の状況を知っていただいている方もいらっ しゃいますし、そうでない方もいらっしゃいます。今、実 は松阪市さんの次年度からの取組みというところで、非常 に注目を集めておりまして、県の方でも毎年1月2月頃に 先進地視察研修ということで、岐阜県の方に行かせていた だいたり、本年度初めて岐阜県の中学校の方に行かせてい ただいたんですが、今後は松阪市さんの取組みが進んでき たところで、ぜひ松阪市さんの取組みを県内の市町の皆さ んにも共有させていただいて、どれだけ取組みが進んでい るか、あるいは課題をどういう風に解決していったのかと いうところをぜひ共有させていただけたらという風に考え ております。いつも大変勉強させていただいてありがとう ございます。H30年度以降も引き続き情報提供、こちらから お伝えさせていただけるところもあるかと思いますが、松 阪市さんからもたくさん情報をいただけたらと思いますの でどうぞよろしくお願いいたします。

協議会会長

県の方からは、情報提供だけでなく、始まる小学校の方 に予算を付けていただきたい。よろしくお願いしたいと思 います。

もうひと方、保健所の方から植嶋先生、まとめでひと言 お願いします。

委員

今回、特に今日の大きな話題としてはフッ化物洗口についてがあると思うんですが、来年度以降こんなにいろいろ実施していただきありがとうございます。この地域で、松阪市以外のところで進んでいない実情ですので、間違いなくこれはよい影響を与えると思っております。

質問ですが、先程視察の話が出ていましたが、何となく個人的に感じるのは、やはり大規模校って何か難しいのかなと思ってたんですが。大規模校と小規模、両方視察に行かれているみたいですが、何か違いというのはあったんでしょうか。

委員

歯科医師会側としてのこれは受け止め方ですが、この実施自体が松阪市さんですので、松阪市さんの意向、あるいは初めて始まるということについての実施校での環境整備

が、小規模の方が行ないやすい、それから目配りがしやす い、それから多分学校の先生方は色々事故があってはいけ ないというようなことの中で、最初の1年目は周到に、あ るいは実施したいというような意向なんだというように受 け止めております。私たち歯科医師会の方もそれに即して、 それに見合うような先進地視察校をいろいろ2者で協議し そのような形を設定させていただきました。そして、モデ ル校が選定されたいきさつですが、説明があったかと思い ますが、地域で就学する子たちが幼稚園、保育園でたくさ んフッ化物の経験をし学校でもつなげようということで す。それについての第二段階ではないのかな、といったこ とはそちらにいらっしゃる井上先生のところが初めて実施 されたこと、そこら辺から始まって、そこら辺の地域の学 校も非常になじみやすいというような、歯科医師会にとっ ても教育現場にとってもスムーズに確実にそして変ないろ いろなわだかまりがなく行ける環境整備をした中で始まっ ているという風に私たちは理解しております。

なので、小規模校からいった方が、実施する関係者の経験値がより高まり大規模校に対する取組みも非常にしやすい、なだらかな坂道になるのではないかなと思います。この中では、2年目の中でもうモデル校が大規模校、中規模校が入ってますので、割りとこのスピードは速いなというように思います。

委員

ありがとうございます。いずれにしても、順調に進んでいるということですね。

協議会会長

平成30年度のライフステージ別の取り組みについて、 それぞれの団体のみなさんからお一人ずつご意見をいただければと思います。

委員

学校現場の思いとしましては、長井会長が言われましたように、むし歯になってからありがたさが分かると。痛い経験をして、あの時磨いていたらよかったなというのが分かると。私も今それを実感しておるところです。できたら子どもたちにはそういう思いをさせたくないな、という思いでいます。本当に皆様の協力でむし歯が少しでも減って、治療に行く子どもが少しでも少なくなれば、本当に子どもと関わる職員としては嬉しいと思っています。ただ慎重に

という話があったんですが、県外に行ったりとかして着実に進んでおります。今後実施校が増えてきましたら、県外に行かずに自分の近くの学校に見学に行って、取組み状況を見て、広がっていくと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

委員

学校保健会の養護部会の代表として参加させていただいているんですが、養護部会の中でも前々年度からフッ化物洗口についての勉強会なり、情報交換という形をずっととらせていただいています。引き続き来年度もそういう形をとることは間違いなくあるんですが、反対に現場の養護教諭として来年実施校にあたってきます。来年は本当に初年度となります。本当に大事な年になってくると思います。子どもはスムーズにするかな、という気持ちはあるんですが、現場の教員というのは多分混乱することは間違いなくあると思います。現場の方はかなり混乱すると思うんですが、学校歯科医の先生をはじめ歯科医師会の先生、衛生士会の方たちも全員で協力してフッ化物洗口に取組んでいきたいと思います。

初年度の反省が次年度以降のことにつながっていくと思いますので、良いところも悪いところもどんどんどんどん 意見として出していきたいと思っています。もちろん情報提供させてもらって、また予算の方もいろいろ会長さんの方も言っていただいたんですが、その辺のところも養護部会でも不安な声がたくさん上がっておりますので、県の方、市の方、すみませんが予算の方も見積もっていただきますよう重ねてお願いをしたいと思います。

委員

2年間参加させていただきました。松阪市が、こうやって 乳幼児期から高齢期まで、ゆりかごから墓場まで系統だて て取組んでいるということを、これまでは否定してること が多かったので、やはりこれからは市民全体にしっかり浸 透していくためには今後も啓発活動が必要だということを すごく感じました。自分は小学校の教諭ですので、学齢期 のところのフッ化物を来年度から各 6 校に配布ということ で、いろいろと丁寧にひとつひとつ確かめながらやってい ただいたおかげで、やってみなければ分からない部分とい のは多分にあると思います。ただ、ここまで今年度 1 年間 かけて職員の研修をしたりとか、先進地視察に行ったりとか、そういったことを丁寧にしていただいたということが次へつながっていくのかなという風に思います。来年度、始めたら始めたでいろんな課題というのが出てくるのかなという風に思います。ですので、その課題をもう一度また来年度のここか歯科専門部会の場でしっかりと協議をしていただいて、より良いものを作っていっていただきたいなと思っております。先程渡辺先生も言いましたが、学校現場で働いていますと予算というのは大事だなというように思いますので、また予算の方もよろしくお願いしたいなという風に思います。

委員

たくさんお話したいんですが、この資料の中で「登園後」「降園後」「給食後」大体3つくらいの時間帯に保育園さんで分かれているんですが、一番初めに登園した時にするのが一番いいと思うんです。でも、マンモス校である上に120人全員揃うというのは難しいので、うちは給食後という形でさせてもらってるんですが、やはり病気とか外から持ってきたものを除去するというので、やはり登園した後がいいんじゃないかなあという風に思いました。質問なんですが、時間帯としては登園した時間帯がやはり一番良いのでしょうか、それとも食後が良いのでしょうか。

委員

あまり関係ないと思います。特に、各担当園の事情の中でみんながおしなべて同じ公平にそれが共有できれば。洗口した後、残留というか口の中に少し残すフッ素が30~40分温存されるようにというようなことが一番効果が出やすいということですので、これはそれぞれ保育園の運営の中での時間帯というのを見つけていただけたらいいと思います。

委員

先程学校の方の水道の方の事情がと言われたんですが、本当に手洗いとかそういうところでの、滑ったとか、押して頭をぶつけたとかいうケガがなくなったので、水道の方の数が少なくてもその場でフッ化物洗口ができて、後は捨てに行くだけという形ですので、水道の事情の方は関係ないかなと思ってお話を聞かせていただきました。またもう1つ質問なんですが、今、薬剤を溶かすのに小さい容器を両方に持って作成しています。もう少し大きい容器でいっ

ペんにたくさん溶けるようにできる入れ物というのはない でしょうか。

委員

あります。

委員

予算がないのでもらえないんですか。

委員

小さいものの方が予算的にはかかるんじゃないでしょうかね。それが、先生のところみたいに経験のある園と、今年から初めてということの中で、今度は市の網掛けになって町の網掛けになってくるから、そういったことで割りと公平感を持つようにどこでも同じように実施しているということで、今のところは小さなものにという形の設定なのかなと僕は推測しますが、ご担当者の方はいかがでしょうか。

協議会会長

容器は大きいのもあるんです。ただ多分、最初始めるにあたって、大きいのでやるよりも小さいので進めていって、多分同じようにやってるんだと思います。これが津田委員がおっしゃったように、慣れてきたらそれなりに大きな容器で作ることは可能だと思うので、これが今後の話になってくるんじゃないかなと思うんです。

委員

すみません、先取りしまして。なんせ、毎週作るのが、 すごい量なものですから。その辺はまた県の方の方に予算 を付けていただきまして、なるべく手早く、振る量が少な くなるようによろしくお願いします。もう1つ聞いていい ですか。歯の健康まつりが毎年行われてますが、あの時に CDとかの配布をしていただけるといいなと思いますが。

協議会会長

まず、フッ化物をやっている CD を松阪のを作ろうと委員 長がやっているんですね。

委員

歯科医師会か松阪市の健康づくり課の方のホームページのところに、ダウンロードできるような形でしてもらえると、みなさん保護者の方はとれるかなと。CD が一番嬉しいけど、若いお母さんはよくダウンロードでいろんなものを取られるから、そういうのにホームページの中に入れておいてもらえるとありがたいかもしれないです。CD は予算的

にお金がかかるので、そういうダウンロードがあるよとい うのを各実施園で広めればもっと普及されるかなと思っ て。

協議会会長

今、その CD は松阪のを作ろうとしているんです。各学校へそれを渡していって見てもらおうかなということは今ちょっとやっているんですが、ただこれも時間と金がかかるので、ちょっと捻出している途中です。

委員

お金のかかることばかりですみません。最後に歯科医師会さんの方の医院さんと連携がすごく密にとれるようになりました。今までは健診の日だけを決めるだけだったんですが、フッ化物洗口の方の説明会の日程を決めたりとか、またその中でどういう風に子どもに啓発するかという内容をお話したりとか、みがき方のことをいろいろ教えていただいたりとか、健診の時もアンケートをとらせていただいたりとか、今後園だよりの中に原稿などももらえれば嬉しいなという風に、すごくわがままいっぱいの気持ちでおります。

協議会会長

わかりました。そういうのは、載せていただける文章は ありますので、言っていただければ。

委員

わかりやすい、専門用語のない文章で書いていただける とありがたいです。

協議会会長

うちの西村が得意らしいので、作らせるようにしますの で。

委員

作っていただいたら、こども未来課の方にいただければ、 みんなの園に配っていただけるのでよろしくお願いしま す。

協議会会長

途中でおっしゃっていた水場の件ですが、おっしゃっているように水道の蛇口の数はいらないんですよ、捨てに行くだけなので。よく、蛇口が少ないのでうちはそこを直してもらわないととかいう話もありましたが、あそこは捨てるだけですので、蛇口は必要ないですので、そこら辺は心配ないと思います。

委員

うちの園でも今年度の H29 年度からフッ化物洗口の方を 開始させていただきました。 先程から話に出ています CD の 方で音楽に合わせてまずブラッシングをして、そして洗口 をという流れでしているんですが、毎日やっている間にブ ラッシングの方も歯みがきの方も上手になってきて、ブラ ッシングのいい音がしているなというのが、毎日子どもた ちの様子を見に行っていますと感じています。そして、泡 の方もしっかりたつようになってきました。子どもたちす ごいなと思いながら見ている次第です。保育園の方では、 この1月2月3月の時期が一番保育園の中というのは、春 に比べて落ち着いた状況の段階の時期です。今年度から初 めてさせていただいた中で、うちの園は職員数も大変多い んです。園児数も大変多いんです。今の段階でしっかりと 職員の方にも周知を、洗口液の作り方、手順、子どもたち の動線を考えた動きの中でフッ化物洗口がしていけるよう にということで、わずかな時間ですがフッ化物洗口を開始 してやってみて今週どうやったかな、来週どんなところを 反省をふまえて気をつけてやり方を変えていったらいいか なということを職員と色々検討しながら進めています。ま た、たくさんの職員数の中ですが、今年度のことをベース にしてまた次年度の体制に引き継いでいき、慎重に丁寧に フッ化物洗口の方をしていきたいなと思っています。今の 状況です。

委員

フッ化物洗口のお話が主流なんですが、大変効果的な方法という風に私も思いますし、効果も上がっているようなので、それが広まっていったり進んでいくことを望みたいなと思います。ただやはりベースとなるのは、むし歯を防ぐ方法としてフッ化物洗口は有効ですが、やはり健康な体をつくる、またしっかり噛む力をつける、こういうべったりでしての歯の働きというのかしてのかい、こういうところがやはり大切だと思います。ですので、しっかり噛める子を育てていく、そういうところで私たち栄養士もしっかり関わっていかなければいけないのではないかませんが、私は離乳食教室の指導なんかにも行きます。そうすると、丸のみをしてしまう子が非常に多いというか、お口をモグモグできないとかそういう子が非常に増えているよう

に思います。それとおやつの中でも、どうしてなのか私は 理由が分からないんですが、アメを食べさせるお家が非常 に多いという現状が個別相談していますと多いです。これ が松阪地区もそうなのか、細かいところは私はデータをと っていませんので分かりませんが、こんなにむし歯のこと が言われているのに、どうしてどういうおやつが好ましい のかとか、なぜそういうものが乳児、幼児たちに与えられ てしまうのか、その辺りのところがまだまだそういう意味 では啓発というところが十分になされていく、また、ただ むし歯を防ぎましょうとか、ちゃんと歯に良いものを食べ ましょうというだけではなく、出来るだけ具体的な形で、 これよりはこの方が望ましいのはなぜなのかみたいなこと を落としどころというか、誰もが理解できるような形で伝 えられるようなこともやはり続けていかなければいけない のではないかなという風に思います。栄養士の方としまし ては、今年度はよく噛むレシピとかそういうものを歯の健 康まつり等でも提案して、できるだけ具体的に伝えていけ るような活動を一緒にさせていただけたらと思っていま す。それから、高齢者の方では介護予防とか、宇気郷の養 成講座の中の栄養編というところで、バランスの良い食事 の大切さとか、それからやはり誤嚥を防ぐためにどういう 工夫が必要かというようなこと、歯科衛生士さんの方の講 座と共に一緒に講座を担当させていただいていると思いま すので、今後とも車の両輪のように両方の立場で相互に協 力したり連携し合って一緒に進めていかせていただけたら という風に思っております。よろしくお願いいたします。

協議会会長

植嶋先生、フッ化物以外でライフステージ別で何かあればお願いします。

委員

今、馬場先生からもお話がありましたが、やはりお子さんだけ気をつけるというよりも、みんなが気をつけないといけないですね。その中でお子さんの教育をするのがお母さん、お母さんに対しての教育なり、教育という言葉はよくないですね、しっかり理解していただくというあたりが大事なところかなと思いますので、なかなか人生の中でそういうお話をうかがうことはないので、お母さんになった時にきっかけとしてそういうのをぜひ充実させていただけ

ればなと思います。

アドバイザー

おっしゃっていただいた先生方、やはりすごく強力に重きを置いていただいているように感じています。それは歯科医師会の先生も同じかなと思っておりまして、フッ化物洗口の場で本当に非常に多いんですが、これだけ各ライフステージ別の取組みを設けていただいているのは、やはりベースに教育、植嶋所長からもありましたようになかないんですが、そういった場を活用して、松阪市の市民のみなさんが生涯を通じて歯と口の健康に取組んでいただけるようにという風に思っておりますので、やはり周知等を徹底していただいてそういったところを教育をベースに考えていただけると、より良いところにできるのかなと感じております。

委員

衛生士会の H29 年度の介護予防の活動の方ですが、いきいきサポーター養成事業が第1包括から第5包括まで9教室、集いの場喪失支援事業は第4包括などで4教室、3回シリーズ介護予防教室が第1から第5で10教室、松阪宅老教室が9教室行いました。内容は主に誤嚥性肺炎の予防で、お口のお手入れとお口の訓練の両方を毎日行うことの重要性を強調し、教室によっては細菌カウンターや咀嚼力判定ガム等を用いて興味を持っていただけるような取組みをしています。次年度は、口腔水分計分割を購入しましたのでお口の乾燥と肺炎との関係について知っていただくようにしたいと思っております。

委員

歯科衛生士会としましては、もちろんこれから始まりますフッ化物洗口事業に関しまして全面協力という形で取組ませていただきたいと思っております。それ以外にも、幼稚園・保育園・小学校・中学校、フッ化物洗口以外にも歯みがき指導ですとか、それこそ中学校にいたりましては歯肉炎といったこと、それから馬場先生の方からもお話がありましたように噛むこと、そういったことを通じた歯科保健指導についても積極的に取組ませていただきたいと思っております。成人期にいたりましては糖尿病とか全身疾患との関係について、そういったことを知っていただく、周知していくようなこともしていければと思っております

し、高齢期に関しましては先程瀬戸口の方からありましたように、色々な教室に赴きましてみなさんに知っていただくこと周知することを努めまして、認知症予防に努めさせていただきたいと思っております。もちろんケアステーションの方から、在宅であったりとかそういったことのケアにも力を入れるんですが、元気な高齢者、それこそいきいきと過ごしていただけるような、それが松阪市全体を元気にしていくのではないかということを考えておりますので、ライフステージ別なんですが、やはり全体的にいろんな場面場面で取組ませていただいて、松阪市全体を元気にしていけたらなという風に思っております。

協議会会長

これからは君たちの時代ですから、君たちが頑張ることによって松阪市が良くなるから、頑張ってください。

委員

薬剤師会としましては、まず1点フッ化物洗口 H30 年度 からは小学校がスタートするということで、各担当の学校 薬剤師で、メインはやはり歯科医師会の先生方や衛生士会 の先生方になるのかもしれませんが、先程から薬剤による ことで、薬のフッ化物の調整方法であったりとか保管方法 とか等々学校薬剤師が知らないということがないように各 担当の学校薬剤師がきちんと教育をさせていただいて、み なさんに指導ができるようにさせていただくように取組ん でいきます。それから、ライフステージということでは、 これは前にもお話させていただいたかと思うんですが、や はり歯だけでなく嚥下の問題です。昨今ですとポリファー マシー、多剤投薬、高齢になってくるに従いましてお薬の 量というのは大体増えてきまして、その良くなるためのお 薬で嚥下障害とかを起こす薬剤の副作用であるんですが、 せっかく飲んでいただいているお薬で嚥下を起こして誤嚥 性肺炎を起こすということがないように、その辺も先程栄 養士会さんからも言われましたが、在宅においてもお薬の 副作用をできるだけ防げるように薬剤師会も主治医の先生 や歯科医師会の先生、衛生士さんと協力して、薬をできる だけ減らしながら状態が悪くならないようにして、誤嚥性 肺炎の防止にも努めていくようにしていきたいという風に 思っております。

協議会会長

これからも他職種連携でよろしくお願いいたします。

委員

ライフステージ別の取組みについてですが、以前より歯 科医師会の方からも要望を出しました妊婦歯科健診を導入 していただけたことは非常にありがたく思っております。 どうしても妊娠中に歯周病が悪化すると、低体重児や早産 ということになりますので、これはとても重要なことだと 思いますし、我々の現場の実際の患者さんで出産後に久し ぶりに来られたお母さんで、やはり妊娠中に生活が不規則 になって歯みがきができなくて、カリエスだらけになって 来られるお母さんとかもありますので、やはり妊娠中の健 診というのは非常に重要だと思います。あとそれ以外なん ですが、2歳児のライン型のフッ化物塗布とかの話が以前ち ょっと出てたかと思うんですが、これは近隣の町の方でも 既に導入されておりまして、実際効果が上がっているよう に聞いております。フッ素塗布の実際の効果ももちろんな んですが、それによる親御さんのむし歯予防に対する意識 の向上という面でも、やはりその時期にそういうのをやっ ていただくとかなり違ってくるかと思いますので、今後ぜ ひ検討していただきたいところであるかと思います。もう 1つは歯周病検診なんですが、これは以前から検診率が悪 かったというのもあって、我々の努力不足、周知不足とい うのがあるかとは思うんですが、今回より10年毎に歯周病 検診がなるという話を聞いております。10年に1回歯周病 検診してどの程度効果があるのかという、ちょっと疑問に 思うところがあります。やはり10年経つとその患者さん個 人の口腔内というのは大きく変化すると思います。やはり 悪くなる前にこういう検診を受けてもらって、重症化を予 防するのにやはり重きを置いていただきたいので、できれ ば検診間隔はもう少し短くなるように検討いただきたいと 願います。よろしくお願いします。

14:50 | 委員

いろいろお話を聞かせていただいておりますと、歯と口腔の健康づくりの教育を行うための環境整備が随分整ってきたなという風に感じています。先程もなぜかアメをたくさん食べられるお家が多いということで、要するに我々がフッ化物洗口の説明会に行った時にやはりむし歯になる理由は何かということで、そこで重要なことというのは1つにシュガーコントロールというのがあるんですよね。そういう話をさせていただく時に、保護者さんに向かってさせ

ていただいてはおるんですが、やはりハイチューが好きだ とかでどうしてもしょっちゅう食べてしまうという風にな るとやはりむし歯も増えてくるよなという風に思うんで す。フッ化物洗口がどんどんこれから小学校に入っていき ますが、お子さん方がお母さんお父さんになった時に何か あんまりむし歯にならんなあと自分の中でおそらく感じて くると思うんです。これはなんでやろなあと言った時に、 何かというと早い段階でフッ化物洗口液を歯に触らせてる というのが実は重要になってくるんですね。1日1回程度の フッ化物洗口液を歯に触れさせてるということが結構大事 なんです。外国人ですと、飲み水にフロリデーションされ ている、飲み水にフッ素が入っているところの方々という のは、僕らのところに外国人さんが来るんですが歯が固い んです。本当に固いんです。ちょっとむし歯になってもそ んなに進まないんです。削っていて固いというのをすごく 感じるので、そういう風な日本人の方が増えていくといい なあと。ちょっとなりかけてもそこでストップしているん です。ですから重症化しないんです、なったとしても。し かも外国人の方とかというのは、甘い物が大好きですね。 糖質をすごくとるんです。それでもそうなってくるという のは何なのかというのは、やはりそういうフッ化物を応用 されているといつの間にか応用されているという風なの で、やってない方とやってる方の違いというのは、大人に なったらおそらくすごく感じるはずなので、じゃあ何でそ ういう風にむし歯にあんまりならんのだろうと思った時 に、そういえばフッ素のうがいしとったなという風に思っ たら絶対自分の子どもにそれをさせると思うんです。だか らそういう風になっていけば、必然的にそういう風な環境 が整ってくるんじゃないかなというのを感じていますの で、それが今のとっかかりですので、みなさんよろしくこ れから頑張っていきましょう。お願いします。

協議会会長

僕らが死んだ頃に、よかったなと言えるようにやっていきたいなと思っています。

委員

この協議会の場というのは、非常にクリエイティブな協議会、会議だと思います。私も何度も申し上げるんですが、 条例に則った協議会ですので、各年代に対応する各課がここに揃っていらっしゃるわけです。それをどのようにつな

ごうかということで、出産前から高齢期あるいは余生を送 っている方まで、どんなような道筋をえがいていけるんだ ろうかということだと思います。ですので、今、フッ化物 のことに特化しておりますが、子どもの時から何とかして いこうということの中で、今ひとつの論点になっていると こなのか、どのように応用するかというようなことになっ ている時期なんだと思います。資料 6 にも H30 年度のライ フステージ別の取組みについてというタイトルがついてお りますが、少しこだわって注文を言うならば、各ライフス テージに応じた取組みについてというのが非常に合致する のかなという風に考えております。先程来、馬場委員から も低年齢児のアメの問題とかいうことの指摘がありました が、実は市場原理の中に組み入れられてる私たちという、 その中でどのように生活していくのか、あるいは長寿を全 うするのかということだと僕は思っています。あまりにも 歯がなかったり、あまりそういうようなことに色々教育あ るいは教えられることがなかった方々がそれで当たり前の ように高齢期になっていて、今、それの対応が国を含めて 大変だというように私は思っています。ですので、アメ好 きの子どもというのはお母さんもアメ好きなら、多分お母 さんがそういうアメをなめると色々というようなことの教 育が、あるいは啓発がなかった中で子ども達もそういう風 に育っていうるのかな、というとちょっと前までそのお母 さん方も中学生、高校生だったわけなんです。そこで、中 学校あるいは小学校あるいは幼稚園ということから始めな いと、その循環というのは断ち切れないのかなと。その学 び舎、その学んだ中での育ちということを考えていくこと に、栄養ももちろん大事ですし、食べ方もそうですし、い つも口の開けている子ばっかりあるいは背中のグニャグニ ャな子、起立ができない子とかいうことが一緒になって考 えていく場が小学校の先生方とか一緒にやっていく場なの かなと思います。しかし、全部の小学校にというわけにも いきませんので、ここしばらくは5年あるいは10年くらい というのは健康づくり課さんなども奥野さんもそうなんで しょうけど、地域なり学校をまわってそこをやはりフォロ ーしてきながらの取組みというのが当然生まれるので、非 常に忙しくなってくるはずだと思います。そこら辺のこと は、歯科医師会はもちろんですが、ある程度は腹をくくっ ておりますので、一緒に連携していただく健康づくり課さ

んを中心としたそういう地域保健の方々、あるいは丸山先生もそうだと思いますが、一緒になってそこら辺のことを支えていくというのがこの条例の中の協議会の1つの主旨かなという風に思いました。

協議会会長

ありがとうございました。

それぞれご意見をいただきましたが、それを踏まえてこの協議事項の第2. H30 年度のライフステージ別の取組みについてご承認いただけますでしょうか。

ありがとうございます。それでは、ちょうど時間になりましたので、この協議会を終了したいと思いますが、最後に事務局の方にお戻ししたいと思いますので、よろしくお願いします。

15:00 (閉会)

事務局

今日は本当に大変熱心なご審議をいただきまして、各団体さんの取組み、それから貴重なご意見等を聞かせていただくことができました。松阪市といたしましても、今後もみなさん方関係機関、関係団体と共に手をとりあって進めていきたいと思っておりますので、委員のみなさま方、今後のご指導ご協力の方よろしくお願いしまして、第2回の歯と口腔の健康づくり推進協議会を終了させていただきたいと思います。

本日はありがとうございました。

平成 29 年度松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会委員

N o	氏 名	団 体 等	役職	備考
1	なが い まさ ひこ 長 井 雅 彦	松阪地区歯科医師会	会長	
2	った まこと 真	松阪地区歯科医師会	副会長	
3	西村 充功	松阪地区歯科医師会	専務理事	新任
4	stě やま ひろ き 杉 山 拓 紀	松阪地区歯科医師会	理事	
5	村 井 俊 之	松阪地区薬剤師会	理事	
6	うえ やま ゆき ほ 上 山 幸 穂	三重県歯科衛生士会松阪支部	支部長	
7	瀬戸口 直 子	三重県歯科衛生士会松阪支部	介護予防担当	新任
8	が 澤 たかし たかし	松阪市PTA連合会	書記	新任
9	馬場路子	市民委員	管理栄養士	新任
1 0	おか だ よし かず 岡 田 良 和	松阪市立小学校長会	校長	新任 第五小学校
1 1	丸 山 竜 平	松阪市立小学校	教諭	幸小学校
1 2	が が が き き 変 が 変 が 一変	松阪市学校保健会養護部会	養護教諭	新任 松江小学校
1 3	寺 田 英 子	松阪市立幼稚園長会	園長	新任 三雲南幼稚園
1 4	いの うえ みほこ 井 上 美保子	松阪認可保育園連盟	副会長	さくら保育園
1 5	井村 智美	松阪市立保育園長会	園長	新任 三雲北保育園
1 6	植嶋一宗	松阪保健所	所長	
アドバイザー	寒 野 ゆたか	三重県健康福祉部	歯科衛生士	新任